

The 13th SEGJ International Symposium 参加報告

日時：12 – 14 November 2018

場所：International Exchange Building, National Olympics Memorial Youth Center (NYC), 3-1. Yoyogi Kamizonono-cho, Shibuya-ku, Tokyo 151-0052

岩手大学参加者：山本，萬谷（大学院1年生）

物理探査学会は、2-3年に1回、日本国内で国際学会を開催します。今年はちょうどその年です。また、岩手大学の地域創生専攻では、必修科目の「グローバルコミュニケーション」で外国に行って研究交流するか、日本国内なら外国の方と研究交流する必要があります。大学院生の萬谷君は研究発表とグローバルコミュニケーションの単位取得を兼ねて国際学会で初めて口頭発表することといたしました。

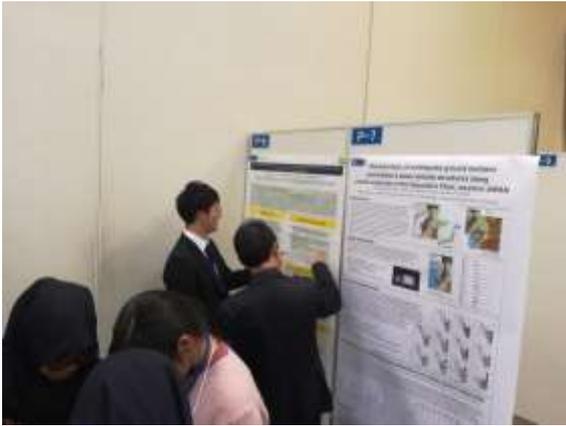
当初、会場が東京代々木のオリンピックセンターであること、いくら国際学会といっても国内開催なので日本人が多数じゃないのか？と考えていましたら、予想以上に外国の方が多く驚かされました。今回の開催では学会が科研費をあてていて、外国の若手研究者に対して旅費を補助していたので、多数の方が来日したのではないかと思います。

初日はポスターセッションの発表です。スペインの方に微動アレイ探査の新システムおよびその探査結果をPR. 理解させることはできたのでしょうか？

2日目は大学院生の萬谷君の発表です。ここ数週間の間、何度も英語のスライドを修正し、発表原稿も何度も練り直したおかげでなんとか発表は無事に終了しました。ただし、質問を理解することができずかたまってしまいました。終了後、日本人の方ですが、わざわざ質問にきてくれたので何とかないようはつたわったのではないのでしょうか？共同研究者の方も立派な発表であったとほめてくれたのはよかったです。いい経験になったでしょう。



オープニングセレモニー。予想以上に外国の方が多い。実は、日本人は会場が東京なので遅れてくる人が多かった模様。



ポスター発表と口頭発表.



測定機器デモンストレーションと交流会. 外国の方は日本文化を満喫.